



神木「巳の神杉」越しの大神神社の拝殿―桜井市三輪で



（住所）桜井市三輪1422
 （祭神）大物主大神
 （交通）JR三輪駅から徒歩約5分
 ▼土日祝のみ桜井駅から大

神神社まで路線バス運行
 （拝観）境内自由
 （駐車場）有り（無料）
 （電話）0744・42・6633

大神神社（桜井市）

大神神社は、背後の三輪山自体をご神体とするため本殿がなく、日本最古の神社とされます。主祭神の大物主大神は、三輪山への鎮座を望まれたといい、崇神天皇の時代に疫病を鎮められたことから「みわさん」の名で親しまれています。



に徳川家綱が再建した拝殿（重文）の奥に、三ツ

最古の神社 山がご神体

鳥居（重文）が設けられ、その奥は浄域のため禁足地となっています。拝殿の傍らの神木「巳の神杉」に、神の化身の蛇がすむとも言われています。大神を「オオミワ」と読むのは、ご祭神が神様の中の神様としてあがめられ、神とは「三輪の神」を意味するようになったからだと伝わります。大物主大神は国造りの神として、また医薬・酒造など人間生活全般の守護神として、広く神威を仰がれてきました。また、そうめん作りの守り神としても信仰があつく、毎年2月5日に行われる「卜定祭」では、神社と縁の深い三輪そうめんの御値をご神前にて伺い、その年のそうめんの出来や売れ行きを占めます。（奈良まほろばソムリエの会会員 箕輪成記）

工の会会員 箕輪成記